

科目名	日本文化史（民俗学）＜地誌を含む＞ 1					単位	2.0
担当教員	蒲池 勢至						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	4321

●授業のテーマ

民俗学と地域文化

●到達目標

生活の中に民俗文化を発見して、意味が分かるようになる。

●学習内容(授業概要)

民俗学は、「土地」に生活してきた人々の生活文化について、伝承を通して考えようとするものである。歴史的風土・環境の中で生活してきた人々は、さまざまな民俗文化を形成し、地域的な特色を形作ってきた。本講義では、基本的な民俗学の方法論と見方を説明しつつ、地域における民俗とは何か、民俗文化とは何かを考える。理解を深めるために適宜ビデオを使用する。

●学習内容(授業計画)

- | | |
|-------------|-----------|
| ① 民俗学の視角 | 食：茶碗と箸 |
| ② // | 間引き |
| ③ 柳田国男と民俗学 | 柳田国男の生涯 |
| ④ // | 折口信夫・宮本常一 |
| ⑤ 民俗学の方法 | 民俗とは |
| ⑥ // | 周圏論と重出立証法 |
| ⑦ // | 周圏論と重出立証法 |
| ⑧ // | 周圏論批判 |
| ⑨ 民俗研究の目的 | 常民 |
| ⑩ // | 平民の歴史 |
| ⑪ 民俗学の研究対象 | 対象の分類 |
| ⑫ 民俗誌と地域研究 | 民俗誌とは |
| ⑬ 民俗文化と地域形成 | 三河地域の民俗文化 |
| ⑭ 同上 | 尾張地域の民俗文化 |
| ⑮ まとめ | |

●準備学習・事後学習の内容

準備：テキストの関連する箇所を読んでおくこと。

事後：毎回の授業内容で関心をもった事について、民俗学辞典などで調べてみる。

●成績評価方法・基準

学期末試験（80%）、授業中の小レポート（20%）

●テキスト（必携）

＜No.1＞書籍名：『民俗学講義』、著者名：谷口貢・松崎憲三編著、出版社：八千代出版、販売先：(株)Do
随時資料配布

●参考文献／その他

授業で紹介する

●履修上の注意

本講義は、後期の「日本文化史（民俗学）2」と関連しているので、できれば継続して履修することが望ましい。